

広報

さなだまち

NO.387

2005 11

特集 さなだのころ



400年、伝統の舞

9月25日、真田氏館跡（御屋敷公園）で、三ツ頭獅子の演舞が4年ぶりに行われました。真田氏が館を建てたときに舞われたという400年以上の伝統の舞を、多くの人が楽しみました。（関連記事は6、7ページに掲載。）



文化

三ツ頭獅子は、地元の三ツ頭獅子保存会によって、数年に一度、豊作の年に行われる。

来年3月、町は合併して新生上田市となる。先ごろ行われた新市の住所表示アンケート結果では、上田市の後に、「真田町」と「真田」の名称を選んだ人が合わせて7割近くになった。多くの町民が、真田の名に歴史や誇り、愛着を感じている結果ではないだろうか。新市の中で、真田地域の特長を考えると、真田氏の歴史、文化、また、多くの山々とそこから発する清流に代表される豊かな自然が、その特長ではないだろうか。そして、それらに誇りや愛着を感じて活動する人がいる。今月は、この人たち取材して、合併を目前に控えた今、改めてこの地域の特長を見つめてみた。そして、この地域を考えると、多くの人がよりどころと思う、そんな「さなだのころ」を考えてみた。

意気

信州真田鉄砲隊。平成6年に町民有志で結成された。全国各地で火縄銃を使った演武を行い真田を発信し続ける。



特集

さなだのころ



歴史

信綱寺にある真田信綱、昌輝の墓。兄弟は、長篠の合戦で戦死した。町内には真田氏の史跡が数多く残る。



六文銭は、無紋銭を2枚ずつ3行に並べた形。戦国から江戸時代にかけて真田氏が用いた旗印。

自然

ダボスの丘から見る根子岳と四阿山。高山とそこから流れる幾つもの川。豊かな自然も真田町の特長の一つ。



真田三代の軌跡

真田氏が戦国時代、世に認められるようになったのは、真田氏中興の祖といわれる真田幸隆の代からです。

幸隆は、天文十年（1541年）の海野平の合戦で坂城の豪族村上義清らに敗れ、上州に逃亡。真田へかえることを願った幸隆は、武田信玄の配下となり、天文二十年（1551年）村上義清から砥石城を奪い取り、真田の地への還住を果たします。これにより、武田氏の配下の地位を確かなものとし、以後の真田家発展の基礎を作ります。

幸隆の後、真田家の後を継いだのは、三男の昌幸。二人の兄、信綱と昌輝は、長篠の合戦で戦死したため、三男の昌幸が真田家を継ぎました。やがて、武田氏が滅びると、昌幸は、織田、北条、徳川と主君を変え、天正十二年（1584年）（推定）、上田城を築き、真田の地位を不動のものとし、上州沼田の領有をめぐって、家康の要求を拒否したことから、徳川七千余騎の軍勢を上田城に迎え撃つこととなります。数では四分の一程度の真田、

特集 さなだの ところ

軍は、巧みな奇襲戦法で徳川軍を打ち破り、この第一次上田合戦の大勝利により、真田の名は天下に轟きます。

秀吉の仲介もあり、徳川と和睦した昌幸は、長男信之を家康に、次男幸村を秀吉のもとに、出仕させます。

この後、天下を統一した秀吉が亡くなり、関ヶ原の戦いが起こります。このときに、昌幸と幸村は豊臣方に、信之が徳川方について戦います。

昌幸と幸村は、徳川秀忠の大軍と戦い上田城を守り、勝利します（第二次上田合戦）が、関ヶ原の戦いで、豊臣方が敗れ、昌幸と幸村は、和歌山の九度山へ配流。昌幸は、九度山の地で没します。昌幸亡き後、九度山にいた

信綱寺に残る血染めの陣羽織。長篠の合戦で戦死した信綱の首級を包んで、運んだといわれ、ところどころに血こんが残る。



点在する史跡

真田氏発祥の郷である真田町には、その館跡や菩提寺、山城が幾つか残っています。

真田氏の草創期の館跡と推定されているのが、現在の真田区の山家地籍、地元で「こつあ」（江沢・郷沢）と呼ばれたり

です。直角に折れ曲がった用水路や土塁跡、矢竹の茂みが残ります。この館には幸隆、あるいはそれに関係する人物がいたと推測されています。大規模な土塁が残り、中世豪族の館跡がほぼ完全な形で保存されているのが、ツツジの名所としてもなじみ深い御屋敷です。長篠の合戦で戦死した真田信綱の館と伝えられ、信綱の死後、信綱の夫人が住んだと考えられています。真田の長谷寺は、幸隆が開基となつて開いた寺です。長谷寺の奥のうっそうとした林の中に、幸隆と、昌幸の墓があります。九度山の地で65歳で没した昌幸は、その遺髪、爪などが国元に送られ、父幸隆の眠る脇に葬られました。

御屋敷は、信綱の館と伝わる。大規模な土塁がめぐられ、中世豪族の館跡がほぼ完全な形で残っている。



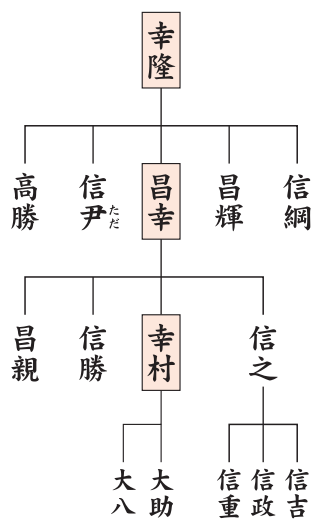
横尾の信綱寺には、長篠の合戦で戦死した信綱、昌輝の墓があります。戦死した信綱の首級は、家臣の白川勘解由兄弟が陣羽織に包み信綱寺へ運んだといわれ、この血染めの陣羽織は、現在も信綱寺に保存されています。

また、町内には、上田築城以前の真田氏の本城であったと推測される真田氏本城など、幾つかの山城が残っています。

人気の理由

では、真田氏はなぜ全国的

真田氏家系図



幸村は、慶長19年（1614年）に勃発した大坂の陣で、大坂城に入城。大坂城外に真田丸という砦を築き、徳川方に多大な痛手を与え、家康を悩ませます。しかし、結局豊臣家は滅亡。最後に家康本陣をめがけて決死の突進をした幸村は、「真田日本一の兵」と

いう賛辞をおくられ、大坂で壮烈な最後をとげました。徳川の時代になつて、徳川方についた信之により、真田家は存続します。元和八年（1622年）に松代に移封され、明治維新まで、真田十萬石として10代に渡り続きました。

歴史 誇る

に有名で、人気があるのでしようか。それは、江戸時代に刊行された「真田三代記」や、明治から大正に発行された「立川文庫」の影響があります。少数で、策略をもって、強大な徳川軍と渡り合う姿は、徳川幕府の下層民に痛快な思いを与えました。また明治以降、立川文庫に描かれた幸村や十勇士の活躍は、全国に多くの真田氏ファンを生み出しました。



長谷寺にある幸隆（中央）と昌幸（右）の墓。左は幸隆の夫人の墓。

幸隆が上州安中の長源寺から見運和尚を迎え開基した長谷寺。石門には、六文銭の印が見える。

受け継ぐ

真田氏が御屋敷に館を建てたときに舞われたという三ツ頭獅子。400年以上伝承されてきた文化は、今年また、新たな舞い手へと受け継がれた。

復活させた保存会

今年9月25日に、4年ぶりに御屋敷で演舞された三ツ頭獅子。町内外から、多くの人が御屋敷を訪れました。

この三ツ頭獅子は、真田氏が御屋敷に館を建てたときに舞われたといわれ、上田城下町の獅子の元になったと伝えられます。この獅子を伝承し



9月25日、観衆の見守る中、武尊さんは、初めての獅子を見事に舞った。

ているのが、地元の三ツ頭獅子保存会です。保存会は、昭和50年の真田氏400年祭を機に結成。地元で伝承されてきて、18年間途絶えていた三ツ頭獅子を復活させました。また、伝承されてきた歌をこのときに楽譜の形にしました。

以後、豊作の年に演舞されています。

三代で受け継ぐ

三ツ頭獅子は、三頭の獅子の他に、神酒の口、禰宜、三天王など幾つかの役割があり、



三ツ頭獅子は、獅子以外にも禰宜、三天王などの役がある。さらに神酒の口、笛、太鼓、歌上げなど総勢50人ほどで演舞される。

総勢50人ほどで演舞されます。保存会では、今年の演舞に向けて、7月から、毎週練習を重ねてきました。そして、今年初めて獅子を舞ったのが19歳の若林武尊さん（赤井）でした。実は武尊さんの父の章一さんも以前、獅子の舞い手で、現在は笛を担当。そして、祖父の重幸さんは、笛の師匠です。保存会でも唯一親子三代で伝統を受け継ぐ3人に練習の合間に話を伺いました。

三ツ頭の歌は音だけで、人伝えに伝えてきたもの。

わかばやしげゆき
若林重幸さん（赤井）

武尊さんの祖父。三ツ頭獅子では笛の師匠。



途絶えてしまえば、次の世代に、伝わらない。

わかばやししょういち
若林章一さん（赤井）

武尊さんの父。以前は獅子を舞い、現在は笛を担当する。



祖

父の重幸さんは、戦後、二十歳のころに三ツ頭獅子を始めました。当時は、「青年団の中に祭典部があつて、笛をやるようにいわれて」始めたそうです。「三ツ頭を出すことになる、御屋敷に集まって笛、太鼓、獅子なんかに分かれて練習した」そうです。笛に楽譜はありません。それは「音だけで人伝えに伝えてきたもの」と重幸さん。戦国から現代まで、三ツ頭の歌詞や旋律を伝えてきたのは、

孫

の武尊さんは、「思った以上にキツイです。うさぎ跳びや、片足で跳ねているのも大変。失敗しないようにがんばりたい」と練習での感想を話します。今後は「伝統なので、できる範囲でやっていきたい。もし、自分の子どもが男の子だったら、やらしてみたいですね」と話します。伝統文化を伝えていくのは、人から人。親子三代に受け継がれるさなだの心がここにあります。

もし、自分の子どもが男の子だったら、やらしてみたいですね。

わかばやしたける
若林武尊さん（赤井）

今年の三ツ頭獅子で初めて獅子を舞った。



特集

さなだのころ

人から人でした。今回、親子三代での参加は、「皆でできることは、いいじゃないかと思う」と話します。父の章一さんは、23歳のころ、地元に戻ってきて、保存会に入りました。「好きだったんだね。お祭りとかが。親父も入っていたから自然に入った」と当時を話します。三ツ頭獅子は、「受け継がれてきているものだから、地元の人間が守つていかないと、途絶えてしまうかもしれないし、途絶えてしまえば、次の世代に伝わらない」と話す章一さん。武尊さんのことは、「本人はどうか分からないけど、引き継いでくれるのは、うれしいよね」と話します。

特集

さなだの こころ

「今年子どもたちに人気だったのは、大明神沢の沢登りと、その水生生物の観察」と話すのは、菅平の根子岳や四阿山、菅平湿原、大明神沢など変化に富んだフィールドを生かした活動が続けるNPO法人やまぼうし自然学校の小松崎昌美さん。「ここには、里山、高山、湿原、沢もある。色々なところがあるから面白いんです。県内に素晴らしい景観の場所は多いですけど、色々なものがそろって、多様なプログラムを提供できる所はそうない」と菅平の良さを語ります。そして、その中で「自然とかかわって生きるすべや自然の見方、付き合い方



自然の見方、付き合い方を、
特に子ども世代に
伝えたいです。

こまつざきまさみ
小松崎昌美さん

菅平のNPO法人やまぼうし
自然学校の事務局長。

学校。割合では、菅平を訪れる都会の子どもが多いといいますが、傍陽小2年生の裏山を使った授業の支援や、地元向けの自然体験プログラムも提供します。「一番やりたいのは、地域の子どもに、ここ



菅平の大明神沢を使っの沢登り。菅平の変化に富んだ自然が、やまぼうし自然学校の主なフィールド。

生かす まもり

町内で、まとまって多くの蛭が出るのは傍陽の洗馬川。7人から始めて、現在60人を超える会員で、この洗馬川の草刈りを続けているのが、洗馬清流会。代表の半田昭三さん（三島平）に伺いました。

自然 根子岳、^{あずまやさん}四阿山など高山のふもとにある真田町は、神川、洗馬川とその幾つもの源流を発する自然豊かな町。それをまもり、生かす活動をする人たちがいる。



洗馬川の草刈りをする洗馬清流会。田中から萩まで約2kmの長さの草刈りを続ける。

「魚はいらないで」。学校帰りに川に入っただけで、2、3匹はすぐ捕まえた」と子どもたちの洗馬川を話す半田さん。設立のきっかけは、現在漁業権を持つ漁協に、地元の「川へ入ったくらいで小言いうなと言う代わりに、川の草刈りをするか」ということから始まったそうです。「川も水面に陽が当たらないと魚や蛭に具合が悪いんだよ。陽があたると、岩魚が好む虫も育つし。そういうのがあつて、草刈りしようとなった」そうです。そして現在、毎年春と秋の2回、洗馬川の最も蛭の出るあたり、2kmほどの草刈りを続けています。洗馬清流会は、この他に傍陽の山で、こしあぶらや、ぎょうじゃにんにくの栽培にも取り組んでいます。「川だけやっても、山が落ち着かなきゃだめ。だけどそんなに植林もできないし、山の産物をやろうとなった」そうです。



川も山も好きだから
入るっていう人は、
声をかけるといよ。

はんだしょうぞう
半田昭三さん（三島平）

洗馬川沿いの人たちが集まり、川の草刈りや、山を楽しむ洗馬清流会の代表を務める。

ボランティアでありながら会員が増えていることは、「川も山も好きだから入るっていう人は、声をかけるといよ。自分の周りをきれいにするっていう感じだと思う」と話してくれました。

菅平には、高山から里山まで豊かな森が広がる。

洗馬川は、季節になると多くの蛭が飛び交う清流。



名前は残るから、
これからも、真田鉄砲隊
でやっていきます。

いっぽんやりのぶお
一本鎗信男さん（下原）

信州真田鉄砲隊の隊長。会員
は、現在8人いる。

ものすごい轟音と、風圧。
火縄銃の演武は、見るものを
圧倒します。この火縄銃演武
を行う信州真田鉄砲隊が、町
民有志で結成されたのは、平
成6年。隊長の一本鎗信男さ
ん（下原）に伺いました。

銃は現在製造されていないた
め、江戸時代の物を使ってい
て、数に限りもあるからです。
鉄砲隊は、「地域おこしと、
日本の鉄砲技術の歴史と古式
砲術を後世に伝えていこう」
と結成されました。当初から、
砲術家として全国的に有名な
堺鉄砲研究会の澤田平さんの
指導を受けています。

「お城のある所のお祭りが
多い」というとおり、信州真
田鉄砲隊は、日本全国のイベ
ントにひっぱりだこ。遠いと
ころでは、秋田県、鳥取県、
香川県。また、NHKの歴史
や教育番組にも何度か出演し
ています。

「真田町のいい宣伝になっ
ていると思う。真田六文銭は、
全国区ですよ」と話す一本鎗
さん。「どちらかといえば、関
西方面、特に大阪の人気はす
ごいです。真田幸村は大阪の
人だと思っている人もいく
らい」と言います。そして
「有名なだけに、真田一族の
歴史の重みを感じます。だか
ら、恥ずかしいようにか
んばらないと。合併しても上
田市真田町で、真田の名前は、
残るから、これからも真田鉄
砲隊でやっていきます」と話
してくれました。



福祉センター講堂で毎週2日
練習する。30人ほどのメン
バーで、子どもも15人ほど
いる。



勇壮な太鼓を演奏する信州真
田六文銭太鼓。町内外のイベ
ントで、年間30回以上は出
演するという。

意 気 信 発

火薬を使用する火縄銃の演
武は、その日の第一発目が
最も緊張するという。



10月2日、上田で行われた
江戸の物づくり国際シンポジ
ウムで、上田城の前で演武を
行った。



勇壮な太鼓の響きで真田を表現する信州
真田六文銭太鼓。火縄銃の演武が見るも
のを圧倒する信州真田鉄砲隊。真田の意
気を発信し続ける団体が、ここにある。

特集

さなだの
ころ



真田っていい所
なんだって思えますよね。

さとうえいきち
佐藤英吉さん（町原）

信州真田六文銭太鼓メンバ
ーで、作曲や演奏指導をする。

「町民の皆さんに買ってい
ただいた太鼓ですから」と話
してくれたのは、信州真田六
文銭太鼓で、作曲と指導を担
当する佐藤英吉さん（町原）。
信州真田六文銭太鼓は、平
成8年に町民有志が集まり結
成。当初は、太鼓もなく、タ
イヤをたたいて練習して、太
鼓を借りて演奏していました。
しかし、自分たちの太鼓が欲
しいということで、メンバ
ーや協力者で町内を回り、寄付
を集めて太鼓を購入しました。

「町に活気が出るのは、いい
ことだ。自分には暇がないけ
ど、代わりに寄付する」など、
多くの町民からのバックアッ
プでスタートしました。

現在では、曲のレパートリ
ーも増え、町内のイベントは
もちろん、町外のイベントに
も参加して、真田を発信する
団体です。

作曲を担当する佐藤さんは、
「真田の地形とか住んでいる
周りの情景、歴史や、真田氏
のことをイメージにおいてた
たかないと、勇ましさが出て
こない」と話します。

メンバーは、現在30人ほど。
毎週2日練習します。「アマ
チュアですから、一生懸命や
ることを見せる。それしかな
いです」というとおり、子ど
もも含めたメンバーは、「責
任をもって、やってもらおう」
ことが基本です。

大阪城のイベントなど、県
外でも真田をアピールする信
州真田六文銭太鼓。「そうい
うのって全国発信じゃないで
すか。大阪に行くと幸村は英
雄です。豊臣と人気はとんと
んですよ」と話す佐藤さん。
誇れるものがある、「真田っ
ていい所なんだって思えます
よね」と話してくれました。

地域を愛する心

対談



常田軍三さん（真田随想録著者）

箱山好猷（真田町長）

——真田氏中興の祖といわれる幸隆から、大坂夏の陣の活躍で全国に名を轟かせた幸村までの真田三代を綴った「真田随想録」の著者で、荒井在住の常田軍三さん。その常田さんと箱山町長の誌上対談。場所は、真田氏歴史館に隣接する真田庵です。

豊かな自然

町長 町では、「自然・文化・人・そして夢：子どもたちへ」という基本目標を掲げて町の長期振興計画を立て、町づくりに取り組んできました。来春上田市、丸子町、武石村との合併を控えて、町として計画した事業は、ほぼ完了し、

また、新市で行う事業は新市建設計画として、計画しているところですが、

そうした中で、基本目標にも掲げられる真田町の豊かな自然は、真田町の特長の一つだと思っています。水源をもつ川上の地域であり、それを支える豊かな森林があります。戦国の真田氏は、ふるさとの山や川をどのように見ていたのでしょうか。

常田 昌幸、幸村父子が、関ヶ原の合戦後に配流され、過ぎたのが、和歌山県の九度山町です。その町の北部を流れる紀ノ川で、昌幸と幸村は、釣りなどをして遊んだことでしょう。九度山から登ったところにある、高野山の宿坊蓮華定院の記録では、昌幸、幸村父子が九度山の川で遊ぶことを許されたと記されています。その遊んだ淵は、真田淵と呼ばれています。紀ノ川は、ちようど千曲川のような川です。ふるさとの千曲川や神川を思い出していたのでは、ないでしょうか。私が子どものころは、よく神川でかじか釣りをしました。今は、下水道も整備されて、水も再びきれいになったと思います。

町長 そうですね。町で進めてきた全町水洗化は、平成14年度には、整備が完了しました。合併浄化槽地区を含めた普及率では、93・4%です。また、20年を経過して老朽化した菅平の浄化センターの建設にも平成16年度から着手して、平成19年度には、新しい浄化センターが完成の予定です。

水を蓄える山の整備についても平成13年度から16年度までに森林空間総合整備事業として、町内の山城などの森林整備を行いました。これは、森林を整備することと同時に、身近な里山の自然に親しんでいたきたいということでも整備しました。まして、山城は、真田氏など先人の残した貴重な遺産でもありますから、多くの方に親しんでいただきたという事です。

こうした真田町の清流や、豊かな自然を、これからも守り生かしていく努力が必要だと思っていますね。

文化のつながり

町長 町には、真田氏関連の史跡や、受け継がれてきた文化もあります。合併という

ことを考えると、歴史、文化的な面でも新市は、つながりのある地域だと思っていますが、いかがですか。

常田 真田町から発祥して、上田に城をかまえた真田氏です。関連する文化が残っています。例えば、上田の夏の祇園祭では、昔は原町から「お山の天王」という山車が出て、祭りを盛り上げました。この「お山の天王」は、お屋敷の背後にある、赤井の天白山の箱庭的風景を模したものでいわれ、「お山の天王」を祇園祭に出すときは、山家神社に原町から使いを出して、許しを得て出したそうです。

上田市の原町は、昌幸が上田城を築城した際に、真田の原の郷から領民を連れていて造った町です。ですから、原の郷は、もとの原だから、本原となっています。また、今年行われたお屋敷の三ツ頭獅子と、上田の房山、常田獅子は、どちらも、館や城の地固めに舞われたのが、その始まりといわれますし、歌詞にも共通点があります。

町長 先日、お屋敷で行われた三ツ頭獅子の演舞には、地元からお招きいただいて、私

も見させていただきました。上田の母袋市長も招かれておいでになっていました。真田氏に関連する伝統文化が400年以上も受け継がれてこの地にあることは、素晴らしいことだと思います。真田氏でつながる上田の獅子との共有する文化も、来年の合併で、例えばイベントにそろって出るなど、発展性も出てくるのではないかと考えています。

真田三代と愛郷心

町長 常田さんは、真田氏三代が、たどった歴史の中に、ふるさとを愛する心があると、著書の中で書かれています。が、どのようなことかご説明いただければと思います。

常田 真田三代とは、真田氏中興の祖といわれる幸隆、そして、その子で上田城を築いた昌幸、その子で、兄の信之、弟の幸村です。信之は、明治まで続く松代真田家のもととなった人物。幸村は大坂夏の陣で、真田の名を全国に轟かせました。順に説明します。

まず幸隆ですが。幸隆は、天文十年（1541年）の海野平の合戦で、村上義清（坂城）、諏訪頼重（諏訪）、武田

特集

さなだの
ところ



ときだ ぐんぞう●真田三代の歴史を描いた「真田随想録」を8年に渡り新聞紙上に連載した。

真田三代の歴史には、ふるさとを愛する心が現れています。

信虎(甲府)に敗れ、祖父海野棟綱とともに現在の群馬県に逃亡して、流浪しています。やがて、幸隆は、武田信玄に仕官します。当時の武田信玄

は、信濃制覇を目指していましたが、信濃の事情に詳しい幸隆を登用し、また幸隆もその期待にこたえます。そして、天文二十年(155

1年)幸隆は、碓石城を自分の力で攻略して、仇敵村上義清を北に追い、信玄の許しを得てふるさと真田に帰ってくるわけです。苦節10年のすえ帰

下原の真田氏記念公園には、三代のレリーフがある。真田幸隆は、真田氏中興の祖といわれる。



幸隆の子、真田昌幸は上田城を築城した。徳川の大軍を上田城に迎え撃ち破ったことで、その名を天下に知らしめた。



昌幸の子、真田幸村は、大坂冬の陣、夏の陣で、豊臣方の智将として活躍した。徳川家康にあと一歩まで迫った華々しい戦死で有名。



還した幸隆をふるさと真田の住民は、歓呼して迎えたといわれます。戦国の世ですから、敗戦で落ちのび、その地で終わる豪族も多かったですから、ふるさと真田への還住を切望し、なしたげたのは、幸隆の「愛郷心」だったと思います。次に昌幸ですが、長篠の合戦で戦死した兄信綱の後、真田家を継いだ昌幸は、天正十三年(1585年)に領有していた群馬県の沼田地域の所屬をめぐって小田原の北条氏と争いになります。これに徳川家康が介入して、沼田を北条氏に引き渡すことを求めてきますが、これを拒否したことから、家康が築城したばかりの上田城に攻めてきます。これが第1次上田合戦ですね。そして、徳川軍は惨敗するわけです。この戦果について、「昌幸は、いつも家臣には愛情を持って接し、領民には慈しみを施したことが、家士・領民の結束を生み、大勝につながって、ふるさと上田領の存亡の危機を乗り切った」と、真田氏の歴史を綴った「真武内伝」は伝えています。これもふるさとの人々と、地域を愛した「愛郷心」のあらわれだと思います。

次に信之ですが、これは、天下分け目の戦いといわれる慶長五年(1600年)の関ヶ原の戦いです。ここで、信之は、徳川方、父の昌幸と弟の幸村は、豊臣方に分かれて戦うことになりました。この別離を話し合ったのが、「犬伏の別れ」ですね。このときに、信之が、誠意をもって家康方についたことが、戦後上田と沼田合わせて九万五千石が、そのまま信之に安堵されることにつながるわけです。これは、ふるさとである領地を守るといふ愛郷心がその根底にあると思います。

町長 そうですね。信之が徳川方につかなければ、真田の存続はなかったわけですから、重大な決断だったと思います。常田 最後に幸村ですが、関ヶ原の戦い後、昌幸と幸村は和歌山県の九度山に配流されます。この間に故郷にあてられた手紙には、ふるさとを思う気持ちがにじんでいます。そして、14年間の閑居のすえ、幸村は、豊臣秀頼から請われて、大坂城に入城します。そして、大坂冬の陣、夏の陣での活躍は有名な話です。家康を後一歩まで追い詰めながら、大阪安居天神の地に散る

次は、信之ですが、これは、天下分け目の戦いといわれる慶長五年(1600年)の関ヶ原の戦いです。ここで、信之は、徳川方、父の昌幸と弟の幸村は、豊臣方に分かれて戦うことになりました。この別離を話し合ったのが、「犬伏の別れ」ですね。このときに、信之が、誠意をもって家康方についたことが、戦後上田と沼田合わせて九万五千石が、そのまま信之に安堵されることにつながるわけです。これは、ふるさとである領地を守るといふ愛郷心がその根底にあると思います。

特集 さなのころ

わけですが、これにより「日本一の兵」の名とふるさと上田を天下に知らしめることになるわけです。この華々しい戦死も、真田の名の誇りと、

ふるさとへの愛郷心だったと思うんですね。こうして、真田三代の歴史をみていると、ふるさとを愛する心が、いたるところに現れてきていることに、改めて気付かされるわけです。

新市の中の真田

町長 地域を愛し、良くしようということでは、町も長期振興計画を進めるために、森と緑やすらぎ空間構想というものを立てて、山城の整備や花いっぱい運動などを進めてきました。また、町が材料費などを交付し、町民の方が自ら汗を流して地域の史跡や、

憩いの場などの整備を行う森と緑やすらぎ空間整備事業もほとんどの区で行われてきました。これは、豊かな自然の町、そしてそこに住む人がうえるおいを持って生活でき、訪れた人もいやされる、そんな地域であって欲しいということから進めてきました。また、子どもたちにふるさとを愛する気持ちをもって欲しいと願って、学校給食は真田町産の米や多くの野菜、果物を使った米飯給食を行ってきました。常田 町長さんも、市町村合併ということを進めてきて、間もなく新市のスタートを迎えるわけですが、真田氏の生き方から感じることがは、あり

ますか。町長 そうですね。合併を進める上で、やはり根底にあるのは、この地域を愛する心だと思っています。この地域の将来のために、どういう選択が良いかということですね。子や孫に愛着ある豊かなふるさとを引き継ぎたいということは、真田氏の心にも通じるものがあるのでは、と思いますね。常田 来春には、真田町も合併して新上田市となるわけですが、新市の中の真田地域をどうお考えですか。町長 合併してもこの地域が、真田氏発祥の郷であることは変わりませんし、そのことを誇りに感じる住民の方も多いと思います。このことは、新市での住所表示のアンケートで、上田市の後に「真田町」と、「真田」を選んだ方が、合わせて7割近くになったことにも現れていると思います。

豊かな自然に恵まれ、真田氏の歴史や文化を受け継ぐこの地域の個性が新市の中で生かされ、光り輝く地域であってほしいと思っています。そして、そこに住む住民の方も誇りと愛着をもって、広域化する新市の中で、コミュニティの力を益々高めて、生

真田氏歴史館に隣接する真田庵で対談は行われた。



き生きと暮らしていける。また、地域自治センターには、地域協議会や、地域の振興を住民の方と一緒に進める部門もありますので、そうした中で、誇りと愛着のもてる地域づくりが今後も進んでいくと考えています。本日は、ありがとうございます。

常田 ありがとうございます。

誇りと愛着のもてる地域づくりが、今後も進んでいくと考えています。



はこやま よしのり●真田町長。現在3期目。

真田氏本城から眺める

十林寺の熊久保集落を登ったところにある真田氏本城からの眺め。

上田城築城以前の真田氏の本城といわれるこの場所は、上田小県と上州を結ぶ上州道を一望におさめることができる場所にあります。

400年以上の昔、ここに立った幸隆や、昌幸は、何を考えたのでしょうか。

この城の背後にある真田集落から興ったといわれる真田氏は、眼下に見える山の稜線が突き出ている部分、砥石城を村上氏から奪い、やがてその先の上田平に築城します。真田氏発展の歴史は、この地から、開けた上田へと近づいていく歴史でもあります。

来年合併すると、新しい市の人口は、現在の町の、10倍以上になります。

大きな市の中で、私たちの住むこの真田地域の特長を再確認しておきたい。

そんな思いから、この特集に取り組みま

した。

私たちの地域の歴史や特長を知り、心にとどめておけば、大きな市の中でも、地域の良さを見失わないでいられるのではないだろうか。

そして、私たちの地域の歴史や自然、文化に愛着をもつ心。そんな気持ちで、地域を愛する心につながっていくのだと思います。

遠い昔、真田三代もそんな心をもって、歴史の表舞台で活躍したことでしょう。

私たちの地域への誇りと愛着を忘れず、新しいまちづくりに、希望を引き継いでいきたい。そう強く願っています。

(編集室から)

特集

さなだの
こころ

■真田町

文化講演会にお越しください

日時 ●11月12日(土)18:30～

講師 松平定知氏

(NHKアナウンサー)

●11月19日(土)18:30～

講師 養老孟司氏(解剖学者・医学博士)

●11月27日(日)15:00～

講師 千石正一氏(自然環境研究所研究員)

会場 すべて真田町文化会館です。

詳しくは、22ページをご覧ください。

問 真田町教育委員会 ☎72-2655

■上田市

上田市国際交流フェスティバル2005

地域住民と外国籍市民との交流により異文化への理解を深めます。

日時 11月27日(日)10:00～16:00

場所 上田市中央公民館

内容 国際交流関係団体の活動や各国の状況を展示で紹介。各国籍児童生徒の意見発表、料理の試食会など。

問 上田市役所秘書課国際交流係

☎22-4100(内線1117)

■丸子町

あさつゆ収穫感謝祭

勤労感謝の日、丸子町営体育館近くの農産物直売加工センター「あさつゆ」で収穫感謝祭が行われます。この秋収穫された地元の野菜や果物の直売、おやきや漬物など、あさつゆ自慢の加工品販売のほか、きのこ汁などの無料サービスもあります。

日時 11月23日(祝)9:30～15:00

場所 町道依田内村線バイパス沿い、内村橋交差点近く

問：丸子町農産物直売加工センター

あさつゆ ☎41-1062

■武石村

武石新そば祭り開催!

地粉(武石産)100%の手打ち新そばの旬を味わう秋のイベントを開催。つきたて餅の販売もあります。

日時 11月19日(土)～20日(日)

10:00～15:00

会場 武石観光センター

問 武石村開発公社事務局

☎85-2829

武石観光センター☎86-2003

新市誕生まで

あと**125日**(11/1現在)



武石産の米・大豆で手作り

●すくこみそ

たけし

武石村生活改善グループ味噌班では、地元産の米と大豆を使って、無添加の味噌を作っています。ふるさとの味を伝えようと平成12年から個人の庭先で加工を始め、今では加工施設で年間約9トンの味噌を仕込みます。主に村内の人から委託を受けて作りますが各種イベントなどでも販売されています。丹精込めて作られる味噌の名称は「すくこみそ」。冬から早春に仕込まれた味噌は夏を越し、良い薫りを漂わせます。ぜひ一度、昔ながらの味噌を味わってください。

さなだ

12月下旬から2月10日ころまでの最も厳しい寒さを利用して作られるのが、凍み豆腐です。夕方に切った豆腐を、屋外で凍らせ、翌朝凍った豆腐をわらでしばって軒下につるし、乾燥させて作ります。凍み豆腐作りは、かつて冬季農家の副業として始められ、真田町の傍陽地区を中心に40軒ほどの家で行われていました。現在は生産者も減りましたが、軒下に並んでつるされる凍み豆腐は、厳寒の到来を告げる真冬の風物詩です。



厳寒のめぐみをあじわう

●凍み豆腐



高級ワイン「マリコ」に期待

●マリコ(梔子)・ヴァインヤード

まるこ

塩川の陣場地区に広がるぶどう畑「マリコ・ヴァインヤード」。かつて丸子を「まりこ」と呼んでいたことなどから名付けられたこのぶどう園は、大手ワインメーカー「メルシヤン」の直営農園で、世界に通じる高級ワイン用ぶどう栽培の最適地として2年前に植栽が始まりました。今年初めて本格的に実がなり、9月に地元の人も協力し約1トン(ワイン千本分)のぶどうを収穫。数年前には年間約80トンの収穫が見込まれます。近い将来、丸子産ワインの芳醇な味わいが楽しめます。

うえだ

宝永3年(1706年)上田城主仙石政明と出石城主松平忠周の国替えの際、仙石氏が上田のそば職人を出石(兵庫県豊岡市)に連れて行き、技術を伝えました。これを出石焼の皿にのせたのが出石名物「皿そば」の始まりです。この皿そばに注目した西塩田営農推進活性化組合では、平成12年に新メニュー「里帰りそば」を考案。塩田の館(☎38-1251)で営業を始めました。上田の殿様が伝えた技術が、300年の時を経て皿そばとして、再び上田に戻ってきたのです。



歴史とともに味わう

●里帰りそば



上田市 丸子町 真田町 武石村 共通企画

四つ葉の
スケッチ

来年の春、私たちの住むまち
は合併して新しい市に生まれ変わります。お互いのまちにはどんな個性があるのでしょうか？
このコーナーでは、4市町村の魅力を毎月テーマに沿って紹介します。

●今月のテーマ **あじわう**



館報・広報

ひもといてみれば



④ 昭和52年5月号 九度山町との姉妹提携

来年3月5日で、47年以上の町としての歴史を閉じ、新生上田市として新たな出発をする真田町。

「ち」の中から、印象深い出来事があった号をひもといて、町の歴史を振り返ってみます。

と真田町は、昭和52年5月4日に姉妹町提携しました。昭和52年5月号の広報さなだまちをひもといてみます。

そこで、町の誕生当時から16年間発行されていた「公民館報さなだ」と、昭和46年から発行された「広報さなだま

ち」の中から、印象深い出来事があった号をひもといて、町の歴史を振り返ってみます。

『紀州九度山町と真田町とが、真田氏、とりわけ幸村、昌幸を頂点とする武将を崇敬追慕しあう間柄であるところから姉妹町を結び協力しあってゆこうと、去る5月4日、九度山町で姉妹町提携の調印式が行われました。』

九度山町との姉妹提携を伝える昭和52年5月の広報さなだまち。



かねて、非公式には話がありました。去る3月3日、真田町と姉妹提携をぜひという九度山町長の親書を手に親善使節の一行7名が町を訪れ、急速に進展したものです。

その際、5月5日には、真田将士の慰霊法要を祈願して、盛大な真田祭りがあるのだ、その時に来てほしい、と

館報・広報を販売します

町発足から、昭和49年まで発行された公民館報と、昭和46年12月号から昭和63年7月号までの広報を収録した縮刷版、真田町誌の近代・現代編の在庫が、現在あります。ご希望の方には次の価格で販売します。町の歩みや歴史が分かるこの一冊。この機会にぜひ、お求めください。なお、公民館報から現在までの広報を1枚に収録したDVDを来年各ご家庭に配付の予定です

公民館報さなだ縮刷版

1000円

広報さなだまち縮刷版

1000円

公民館報と広報は、セットでの購入をお薦めします。

真田町誌近代・現代編

3000円

問い合わせ 情報政策課

有線2121 ☎722202

または、教育委員会

有線2097 ☎722655

の話でそれが実現したものです。そこで調印式や真田祭りの様子を随行した清水憲雄教育長に語ってもらいました。『以下、当時の清水教育長の語る九度山町の真田祭りから抜粋して紹介します。』

『しばらくしてお祭り一番の出しものである真田十勇士の見学に町通りへ案内された。九度山町は昔から高野山入口の町として相当に栄えてきた町だけに商店街が坂道ではあったが長く続いていた。街の中程に我々の為に特別席が設けられていて腰を下ろして見

学した。(中略)先頭は平越町長ふんする真田幸村、青毛の名馬に見事な鎧兜に身を固めた姿。(中略)最後には稚児行列が来た。皆揃いの着物に袴、金の冠、白い長い綱を中心に稚児とその母親が並んで来たがこれは非常に長い行列だった。まさに町を挙げての大祭りであった。』と当時の清水教育長は、感想を語っています。



あの人を訪ねて ⑦④

町の皆さんと一緒にやらせていただくのは、楽しいです。

坂口登志さん（真田）

87歳で機織りを教える

「この糸が違っていているから、戻してやってみて...」。長の生涯学習館を訪ねると、機織り機の前で、熱心に機織りを教える坂口登志さん（真田）がいました。

坂口さんが、町内の機織りを学ぶグループに教えて、もう10年になるとか。現在87歳の坂口さんが、機織りを本格的に始めたのは、30年近く前。嫁いだ家に機織り機があって、「機織りをしていた実家の母からつむぎをやってみたらといわれて」始めたそうです。

そして、知り合いに紹介されて、群馬県指定重要無

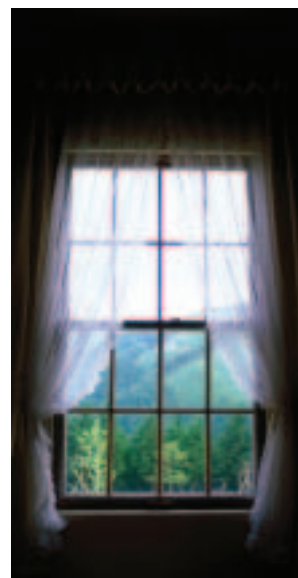
形文化財保持者の山崎青樹さんの染め糸で布を織り15年ほど納めたそうです。「真剣に、きちつといいものを届けたいと思って織っていました」と坂口さん。

現在は、月2回ほど生涯学習館で機織りを教えています。「私も色々教えてもらって、町の皆さんと一緒にやらせていただくのは、楽しいです」と言います。

機織りは、整経という下準備から織りまで、とても手間のかかる仕事。「難しいのが仕上がったときは、うれしいです」と機織りの楽しさを話してくれました。

さかぐち とし ●機織りのほかに、短歌や、お茶も楽しむ。できるときに、勉強しておけば、自分の糧になり、生きがいになると話す。

窓



消費生活だより ⑬

ごみの出し方と

減量を考えよう

生物に有害な紫外線を吸収してくれるのが、地球のオゾン層ですが、このオゾン層を壊したのは、冷蔵庫の部品に含まれるフロンガスだと考えられています。今はノンフロンの冷蔵庫が出ていますが、人がより便利で快適な生活を求めた結果、出てきた問題が、環境やごみの問題ではないでしょうか。

サイクルする為には、きれいに洗い、乾かして出すことが大切だということです。

上田クリーンセンターもあと何年かで、建て替えが必要になります。候補地も検討されていますが、まだ決まっていないうです。しかし各家庭からゴミは出るわけで、家庭で処分できるものも限度があります。そんな中で生ごみを簡単に処分できる「パッケン」が今注目されています。段ボール箱ひとつで手軽に、しかもにおいもほとんどなく廃油まで処理できる優れものです。興味のある方は、消費生活推進委員会か、役場生活環境係まで問い合わせください。

（環境ごみ対策部会）

ごみについて、家でできることを考えてみました。まず、当たり前のことですがごみの分別をきちんとすることです。消費生活推進委員会、ごみ収集体験やクリーンセンターを見学して、感じたことは、缶やビン、ペットボトル、プラマークのついたごみをリ

真田町文化講演会シリーズ

会場
真田町文化会館
入場無料

問い合わせ 教育委員会
有線2097
☎72-2655



11/5 土
15:50~

講師 堀田 力さん

演題 「こどもの人権、おとなの人権」

講師プロフィール

弁護士・さわやか福祉財団理事長。▼昭和9年、京都府生まれ。京都大学法学部卒業。昭和51年、東京地検特捜部検事としてロッキード事件などを担当。平成2年、法務省大臣官房長。平成3年退職。弁護士登録し、さわやか福祉推進センター開設。平成7年、さわやか福祉財団を設立。
著書：「認否」「おごるな上司！」「壁を破って進めー私記ロッキード事件」（講談社文庫）ほか多数。



11/19 土
18:30~

講師 養老 孟司さん

演題 「バカなおとなにならない脳」

講師プロフィール

解剖学者・医学博士・北里大学教授・東京大学名誉教授。▼昭和12年、神奈川県鎌倉市生まれ。昭和37年東京大学医学部卒業。昭和56年、東京大学医学部教授に就任。平成8年、北里大学教授に就任（大学院医療人間科学）、大正大学客員教授兼任（人間学原論）。平成10年、東京大学名誉教授。著書：「ヒトの見方」「解剖学教室へようこそ」（筑摩書房）「唯脳論」（青土社）ほか多数。



11/27 日
15:00~

講師 千石 正一さん

演題 「いのちはみんなつながっている」
講師プロフィール
（財）自然環境研究センター研究主幹。▼昭和24年、東京都生まれ。東京農工大学卒業。動物の世界を研究・紹介することに尽力し、自然環境保全の大切さを訴える。図鑑、学術論文などの幅広い執筆活動のかたわら、「どうぶつ奇想天外！」（TBS）などテレビにも出演し活躍中。
著書：「いのちはみんなつながっているー西表生態学」（朝日新聞社）、「最後のゾウガメを探しに」（丸善）ほか。



12/17 土
14:00~

講師 櫻井 よしこさん

演題 「今、日本が直面する内外の課題」

講師プロフィール

ジャーナリスト。▼ベトナム生まれ。ハワイ大学歴史学部卒業。アジア新聞財団DEPT H（デプス）NEWS東京支局長、NTVニュースキャスターをへて現職。平成7年、「エイズ犯罪・血友病患者の悲劇」（中央公論社）で第26回大宅壮一ノンフィクション賞、平成10年、「日本の危機」（新潮社）を軸とする言論活動で第46回菊池寛賞を受賞。著書：「論戦」シリーズ（ダイヤモンド社）ほか多数。

真田町一周駅伝大会

菅平Aが12連覇達成！



優勝の菅平A。アンカーの津端広輝選手のゴール。12連覇達成の瞬間。

チームとして姉妹町の和歌山県九度山町から1チーム。真田クラブ（小学生）から2チームと上田警察署から1チームがオープン参加で、大会を盛り上げてくれました。

駅伝の結果

第1位	菅平A	1時間22分49秒
第2位	竹室A	1時間26分11秒
第3位	出早A	1時間33分31秒
第4位	菅平B	1時間33分57秒
第5位	中原	1時間34分32秒
第6位	大畑	1時間35分36秒
第1位	菅平H	1時間30分47秒
第2位	菅平J	1時間32分48秒
第3位	佐助走友会	1時間34分46秒

各区分1位

1区	古沢 拳(竹室A)	15分21秒
2区	小林晋之介(菅平A)	12分44秒
3区	河崎比呂也(菅平A)	14分11秒
4区	正木栄二(菅平A)	13分57秒
5区	渡辺桂伍(竹室A)	11分52秒
6区	津端広輝(菅平A)	13分39秒

さなだ

スポーツクラブ

会員募集

さなだスポーツクラブが、今年12月10日の設立総会をもって正式にスタートします。このクラブの会員を、現在募集しています。

申し込み費用と方法

①17年度に申し込みをすると

17年度の主な活動

入会金は10000円で、今年度中は年会費が無料です。来年4月以降は、一般入会金20000円と年会費が必要となります。
②スポーツ教室には定員があります。早目の申し込みをお願いします。申込用紙に記入の上、写真を用意いただき申し込みをお願いします。

①ふれあいさなだ館フィットネススタジオに新たに14台のトレーニングマシンを設置の予定です。マシンを使って、体力に応じたトレーニングができます。クラブの会員は、無料で使用できます。ただし、ふれあいさなだ館の入館料は必要となります。
②17年度は7つのスポーツ教室を予定。「健康ヨガとストレッチ教室」・「太極拳入門教室」は、3月まで10回開講で、費用は5000円です。他の5教室は、無料です。
③従来の真田町体育協会各部の活動は、サークル活動として引き続き活動します。
申し込み・問い合わせ
さなだスポーツクラブ事務局（教育委員会内）有線2244
☎72-2657

11月 図書館だより

今月のお話し広場
日時 11月19日（土）午前10時
場所 児童図書室
担当 たまて箱のみなさん
内容 パネルシアター
今月の休館日
☆月曜定例休館7日/14日/21日/28日
☆祝日休館3日（木）/23日（水）
☆月末整理休館 30日（水）
おすすめの一冊
「ハルおばちゃんの手」
文：山中恒 絵：木下晋（福音館書店）
物語りの主役は「手」です。ハルおばちゃんの生まれたての手から、暮しを育て、愛をはぐくみ、死を見おくる手へ。心に響く静かな物語です。
新着図書紹介
「震度0（ゼロ）」 横山秀夫
「峠越え」 山本一力
「小樽北の墓標」 西村京太郎
「天使のナイフ」 薬丸 岳
「ひとりずもう」 さくらももこ
「チョコレート工場の秘密」 ロアルド・ダール



Information

配偶者からの暴力(DV)防止セミナー受講生募集

11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。ドメスティックバイオレンス(DV)防止セミナーを開催します。

日時 11月19日(土) 午後1時～3時50分

場所 県男女共同参画センター(岡谷市)

講演 「DV防止の今とこれから」

講師 戒能民江さん(お茶の水女子大学教授)

対談 「DVと児童虐待を防ぐために」戒能教授と北山秋雄教授(長野県看護大学)

その他 参加費無料。事前申し込み不要です。託児希望の方は、15日(火)までに申し込みください。

申込み・問い合わせ 県男女共同参画センター ☎0266-22-5781

事業系紙ごみの搬入が12月1日から規制に

上田クリーンセンターでは、焼却ごみをできるだけ減らそうという取り組みのなかで、事業系紙ごみは資源に回すよう、12月1日から事業系紙ごみの搬入を規制することになりました。

事業系紙ごみの搬入が規制されると、商店や飲食店、旅館、ホテル、工場などの事業者は、その事業から、発生したダンボール、新聞、雑誌、雑紙などの紙ごみを可燃ごみとして出すことができなくなります。メモ用紙のような小さな紙でも、紙ごみは燃やさず、資源ごみとして出すことを今から心がけてください。

なお、一般家庭でも、できるだけ可燃ごみを減らし、資源ごみに出すようご協力をお願いします。

問い合わせ 生活環境係
有線2046 ☎72-2204

交流作品展におこしく下さい

町内小中学校の自律学級の子どもや町内に住む上田養護学校在校生、風の工房やOIDEYOハウスに通う方が制作した作品を、一堂に展示します。作品は、墨の絵、石絵、アートフラッグ、被服作品などです。日ごろの学習や生活の成果が表れた、力強く個性的で、

生きる喜びが伝わってくる作品です。ぜひご覧ください。

本原小学校
11月11日(金)～18日(金)

真田中学校
12月9日(金)～20日(火)

菅平小中学校
1月10日(火)～23日(月)(土・日は除きます。)

問い合わせ 長小学校・酒井 ☎72-2012

休日と夕方に年金相談を行います

11月6日から12日は年金週間です。そこで次のとおり夕方と休日に年金相談を行います。年金手帳か年金証書を持っておこしく下さい。代理の方が来る場合、委任状が必要です。

休日相談日(午前9時30分～午後4時) 11月6日(日)、12日(土)

真田町農業・農村活性化、真田町認定農業者連絡会研修会 野菜の用途拡大と土づくり

横浜市から日本一のレタス産地、川上村に移住し、レタスを原料にしたジュースや漬物の商品化に成功。現在川上村でレタスの漬物会社を経営する講師の興味深い講演にお越しく下さい。

また、土作りや肥料切れの影響などに関する講演もあります。

日時 11月28日(月) 午後1時30分～4時30分

場所 役場3階講堂 入場無料

内容 講演①「野菜の加工販売について」／講師 ㈱ピクルス・ジャパン社長 渡辺桐子氏
講演②「土作りと有機物の使い方」／講師 鯉淵学園栄養専門

渡辺桐子氏プロフィール
昭和14年樺太生まれ。昭和41年横浜にすし店「桐鮎」開業現在にいたる。平成10年長野県川上村に移住。平成11年レタスをジュースに商品化。平成12年レタスを漬物に商品化。㈱ピクルス・ジャパン設立。平成17年「レタスの処理方法と漬け方」で特許取得。



時間延長日(午後7時まで) 11月7日(月)～11日(金)と14日、21日、28日の各月曜日

問い合わせ 長野社会保険事務局 ☎026-267-6708

ねんきんダイヤルをご利用ください

年金手続きや受取の相談は、一般固定電話で、市内通話料金のみ、ねんきんダイヤルをご利用ください。

年金請求などの相談番号
☎0570-05-1165

年金を受けている方の相談番号
☎0570-07-1165

問い合わせ 長野社会保険事務局 ☎026-267-6708

18年度事業の共同募金配分要望募集

長野県共同募金会では、福祉事業を行う団体からの共同募金配分要望を募集しています。

対象団体・事業 ①市町村を越えて活動する団体。②定款、会則等の基本規定を有する団体。③各種のコミュニティサービス、ボランティア活動、及び、保健、医療、教育等に関する事業で福祉領域と重なる分野を持つ事業。④18年度事業。上記にはNPO法人も含まれます。介護保険事業は対象外です。

受付期限 11月30日(水)

問い合わせ 県共同募金会 ☎026-234-6813

長野県の交通安全標語を募集

県では来年度から使用する交通安全標語を募集しています。

応募締め切り 12月16日(金)

応募方法 標語、氏名、年齢、市町村名までの住所、連絡先を記入して応募ください。詳しくは、イ

ンターネット(<http://sbc21.co.jp/k-town/>)をごらんください。

問い合わせ 県交通安全対策ユニット ☎026-235-7174

町事業の落札業者(8・9月分)

十ノ原配水管布設替工事
1,470万円 山崎設備工業(有)

渋沢配水管布設替工事
2,363万円 浅間設備(株)

赤井浄水場ろ過膜交換工事
714万円 甲信商事(株)上田営業所

白銀線道路改良工事
1,019万円 (株)菅平土建

羽根尾西組線道路改良工事
1,071万円 (有)池田組

曲尾地区中央排水路改修工事
525万円 (有)堀内建設

乳幼児健康診査と予防接種

(11月6日～12月5日)

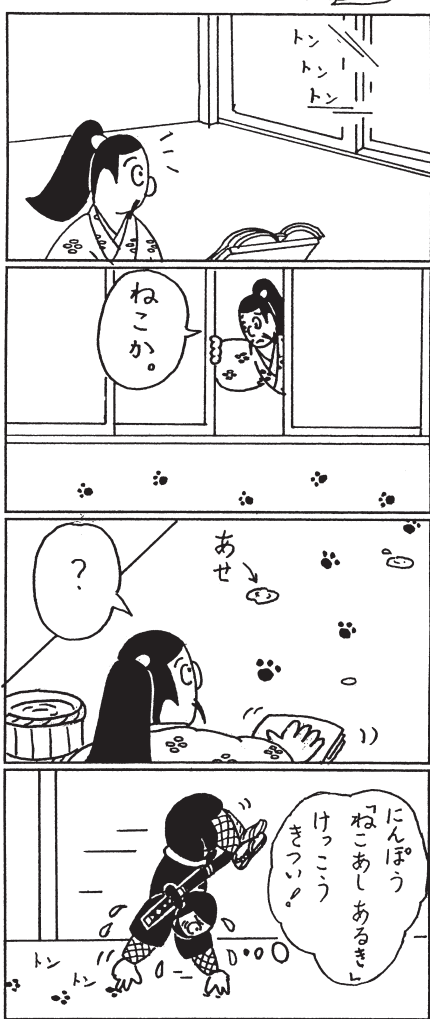
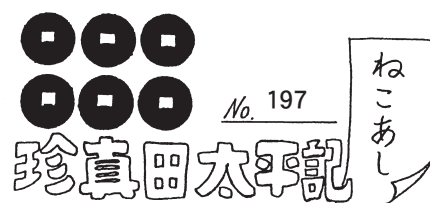
ベビー相談 11月10日(木) 午後1時～1時40分受付
場所／保健センター
対象／17年8・9月生まれ

乳児健診 11月29日(火) 午後1時15分～1時40分受付
場所／保健センター
対象／17年1・4・7月生まれ

B C G 11月10日(木) 午後1時～1時40分受付
場所／保健センター
対象／17年8・9月生まれ

ポリオ 11月8日(火) 午後1時15分～1時40分受付
場所／保健センター
対象／1回目は17年1～6月生まれ、2回目は16年7～12月生まれ、7歳6ヶ月未満の未投与児

三種混合 12月～18年2月
場所／本原医院・小林医院
対象／初回は17年3～8月生まれ、追加は15年9月～16年2月生まれ、7歳6ヶ月未満の未接種児



麻しん 12月
場所／本原医院・小林医院
対象／16年9～11月生まれ、7歳6ヶ月未満の未接種児

問い合わせ 保健センター
有線2053 ☎72-9007

行政相談、心配ごと相談

日時 11月18日(金) 午前9時～正午

場所 福祉センター

問い合わせ 行政係
有線2011 ☎72-2201
または社会福祉協議会
有線2007 ☎72-2998



行政情報

真田の里 かかしコンテスト 入賞者発表

第9回真田の里かかしコンテスト入賞者は次のとおりです。
町長賞 三井さ紀（岡保）
真田町農業委員会長賞 宮島守夫（石舟）
信州うえだ農業協同組合長賞 両角とし子（萩）
審査員特別賞 清水さと子（中横道）、長小学校5年生、清水たけ子（下原）
優秀賞 ボランティアクラブ根子屋の家（萩）、三井厚子（岡保）、岡保区リサイクルの会（岡保）、半田紀吉（中横道）（敬称略）
関連記事を、31ページに掲載。
問い合わせ かかしコンテスト事務局（農林係内）
有線2032 ☎72—4330

健康に気をつけて 医療費の適正化に ご協力ください

平成16年度の真田町の老人医療受給者は1,963人でその医療費は11億7,758万円となっています。
このうち、医療を受ける人が医療機関窓口で支払いをする一部負担金は1億1,110万円で、残り約9割の10億6,648万円は、国、県、町、各医療保険者で負担をしています。また、16年度の一人あたりの老人医療費は599,890円となり、前年と比較して金額で24,837円、率にして4.3%伸びています。
とかく私たちは医療機関で支払う一部負担金だけに目が行きがち

です。しかし、国、県、町、各医療保険者がどれくらい医療費を負担しているかを知っていただくため、該当者の皆さんに年一回、医療費通知を送っています。医療費の増加は公費負担を増加させるだけでなく、老人医療受給者の皆さんの負担にも影響を与えます。
そこで、次の点に留意していただき、医療費の適正化にご協力ください。

- 定期的に健康診断を受け、病気の早期発見、早期治療を心がける。
 - ひとつの病気で複数のお医者さんにかかる重複受診を避ける。
 - 家庭医・かかりつけ医を持ち、毎日の健康管理に気をつける。
 - 転倒、骨折を防ぐ
- 問い合わせ** 国保年金係
有線2058 ☎72—0154

あなたです 火のあるくらしの 見はり役

秋の火災予防運動が、11月9日から15日まで行われます。全国統一標語は、「あなたです 火のあるくらしの 見はり役」、上田広域の標語は、「火はちゃんと消したかな？ 心に聞いてみよう!」です。
住宅防火三つの習慣
①寝たばこは、絶対にやめる。
②ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
③ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
住宅防火四つの対策
①逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器等を設置する。

- ②寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する。
- ③火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- ④お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

なお期間中、消防団各分団で模擬火災訓練が行われますので、ご協力をお願いします。
消防ふれあい広場
はしご車、救急車など各種の消防車両の展示や体験コーナー、展示コーナーがあります。ぜひお越しください。

日時 11月12日（土）
正午～午後2時
場所 東御中央公園
ラッパ吹奏会
日時 11月13日（日）午後2時～
場所 真田町文化会館
第16回消防音楽隊定期演奏会
日時 12月3日（土）午後2時～
場所 真田町文化会館
問い合わせ 真田消防署
有線2009 ☎72—0119

上田地域広域連合 ごみ問題の 講演会を開催

ラジオ、テレビで活躍する武田徹さんを招き、ごみ問題など私たちを取り巻く様々な課題を、分かりやすく話していただきます。入場は無料です。
日時 12月12日（月）
午後1時30分～4時
会場 上田創造館 文化ホール
内容 ①講演「私たちの忘れてきたもの」（自然からのメッセージ）

消防標語入りポスター 44点の作品を表彰

町内の小学生を対象に、今年も消防防災意識向上のための標語入りポスターが募集され、189点の応募の中から、24点が町長表彰に、10点が教育長表彰に、10点が消防署長表彰に選ばれました。
この中から、今秋と来春の町内火災予防用のポスターに田中英羽さん（菅平小5年・写真左）と佐藤麗奈さん（菅平小6年・写真右）の作品が使われることになりました。受賞者は次のとおりです。作品は、11月8日から15日まで役場町民ホールに展示されます。
町長表彰（傍陽小）柳澤航希、佐藤明輝、

関口波穂、間島りいん、山岸知穂、三井麻衣（本原小）石黒太加志、内海義幸、竹内友里、中澤瑞希、横沢俊英（菅平小）伊藤一成、大倉香織、田中英羽、田辺幸汰、林豪樹、林勇樹、前沢美由希、湊廣輝、宮崎優也、山崎美優、岩渕香里、佐藤麗奈（長小）一之瀬仁
教育長表彰
優良賞／（傍陽小）榎千暁（本原小）一之瀬美由子、（菅平小）古川広野、宮崎嵩之、（長小）飯塚寛貴、努力賞／（傍陽小）武捨杏奈、（本原小）宮坂友梨、（菅平小）柿沼遥



佳、酒井雅俊、立花力也
消防署長表彰
奨励賞／（傍陽小）小林沙恵、関口夏実、（本原小）中澤実久、（菅平小）下平美里、（長小）宮島直渡、特別賞／（傍陽小）福田峻介、武捨秀紀、（本原小）市川大和、林航平、（長小）久保温美（敬称略）
問い合わせ 真田消防署
有線2009 ☎72—0119

講師 武田徹氏
（フリーパーソナリティー）
②資源循環型施設（統合ごみ処理施設及びリサイクルプラザ）の建設候補地選定について
③エコサポート21の紹介
④ミニコンサート「唱歌のふるさと」ハーモニカ 武田徹氏、ギター 角田忠雄氏
問い合わせ 上田地域広域連合ごみ処理広域化推進室
☎23—2104

合併4市町村 トーチリレー走者を 募集します

11月26日に、合併100日前イベントとして、4市町村をつなぐトーチリレーが開催されます。そこで、真田コースの走者を募集します。個人、親子、グループなど、ぜひ、応募ください。
日時 11月26日（土）午後1時～1時45分（真田区間）
コース 傍陽小学校前～お屋敷公

園で、1区間約500m。
締め切り 11月15日（火）
問い合わせ 合併準備室
有線2066 ☎72—2202

入山にはご注意を！ 11月15日から 狩猟期間が始まります

11月15日から2月15日まで狩猟期間となります。猟期間中は県内外から多くの狩猟者が町内の山へ入ることが予想されます。
山へ入る場合は、目立つ服を着る、鈴のような音の鳴るものを身に着けるなどして、十分にご注意ください。
問い合わせ 農林係
有線2024 ☎72—4330

児童虐待の おそれがあれば ご連絡ください

児童虐待は、子どもの心身発達や人格形成に重大な影響を与えま

す。虐待を経験した子が親になった時に虐待を再現する場合もあります。児童虐待には、発生予防、早期の発見・対応と自立支援など切れ目ない支援が必要です。
急増する児童虐待を無くすため、地域で子どもや子育て家庭を見守り、もし児童虐待を発見したり、そのおそれがある場合は、下記までお知らせ下さい。
連絡先・問い合わせ 福祉係
有線2022 ☎72—2203
長野県中央児童相談所
☎026—228—0441

来年度入学予定児童の 就学前健康診断を お忘れなく

対象者 来年度小学校入学予定児童
日時 11月24日（木）午後2時～（受付1時30分～）
場所 文化会館
内容 内科、歯科、眼科、耳鼻科
問い合わせ 学校教育係
有線2043 ☎72—2655

MNさなだ ゆうほう番組表 (11/6~12/5)

放送時間は、夕方6時30分～（再放送は翌朝6時～）となります。おはなしの世界へ、学校・保育園だよりは、夕方4時30分～

日	曜	番組名	出演者
6	日	学校だより「すずらん祭を終えて」	／菅平中学校
8	火	駐在所だより	／真田駐在所
10	木	身近な税の話『「税を考える週間」について』	／上田税務署
12	土	おはなしの世界へ「ゾウを見たネズミ」	／おとぎの会 松沢 悦子さん
13	日	学校だより「お米作り5年生」	／本原小学校
15	火	みんなの健康 「障害者サービスについて」	／障害者支援係 橋詰 京子
16	水	図書館の窓	／図書室
17	木	農業アドバイス	／上小農業改良普及センター
19	土	おはなしの世界へ「海に沈んだおに」	／おとぎの会 一之瀬 とく子さん
		みんなの食生活「かぜをひかないための食事」	／保健センター山崎栄養士
20	日	保育園だより「お店屋さんへ ようこそ」	／さなだ保育園
22	火	生活のしおり	／JA長支所増田生活指導員
24	木	さなだ通信	／町内から
26	土	おはなしの世界へ「山賊の弟」	／おとぎの会 小林 彰さん
27	日	子育て支援センターだより「栄養士さんの講話」	／子育て支援センター
29	火	庭木の管理	／真田町造園協同組合 堀内久夫さん
1	木	生活環境係から	／生活環境係
3	土	おはなしの世界へ「団地の店」	／おとぎの会 海瀬 徳子さん
4	日	学校だより「スキー活動」	／菅平小学校

☆有線放送に加入しました。 6071 鈴木 歩（出早）

水道工事当番店

11月の水道工事
当番店です。

工事店名	月	日
金井設備商会(株) ☎72-2118 有線 3356	1	14 27
(有) 駒屋商店 ☎72-3696 有線 2373	2	15 28
(有) 真田建設 ☎72-2019 有線 5430	3	16 29
石巻設備 ☎73-2021 有線 4454	4	17 30
(有) 長崎商店 ☎73-2511 有線 2368	5	18 *
(株) アサヒ興業 ☎72-3414 有線 5333	6	19 *
(有) ドーム管工 ☎72-0771 有線 4383	7	20 *
山崎設備工業(有) ☎73-2322 有線 4210	8	21 *
(有) 信濃空調 ☎72-5706 有線 6249	9	22 *
若林設備工業所 ☎72-3166 有線 5332	10	* *
イチノセ管工 ☎72-3000 有線 5216	* 23	*
浅間設備(株) ☎72-3938	11	24 *
菅平設備 ☎74-3933	12	25 *
岩淵住設 ☎74-4122	13	26 *

税の豆知識

18年分から農業申告はすべて収支です！ 12月5日に説明会を開催します

農業所得の申告は、営業や不動産所得と同じように、収入金額から必要経費を差し引いて計算する、収支計算が原則です。

この収支計算が難しいという方は、本年分までは、経費目安割合（黄色い紙の申告書で、主な作物により経費を確定割合で算出し、所得計算を行うものです）により農業所得を、申告することができます。

しかし、平成18年分以降の申告は、すべての方が収支計算をすることとなりました。

そこで、役場税務係では、12月5日（月）午後2時から、役場3階講堂で、上田税務署の農業所得の担当者を講師に迎えて、農業所得の収支計算説明会を開催します。18年分の計算は、来年の1月から始まります。農業所得の申告が必要な方は、必ず出席してください。

なお、すでに記帳をされている方は、さらに有利な特典を利用できる「青色申告制度」がありますので、是非、こちらをご利用ください。

問い合わせ 税務係 ☎72-0154 有線2041

戸籍の窓

ご両親からのメッセージ
思いやりのある子に
育ってください！



塚田侑蘭ちゃんとお母さん

9月届け出分

☆お誕生おめでとう

塚田	すずらん 侑蘭	(聡 千枝美	中原
花岡	としひろ 俊宏	(康 弘 恵 里	上原
横沢	れいな 怜奈	(隆 弘 幸 美	横尾

真田町イメージキャラクター

猿飛佐助



©杉浦茂

□ごめいふくをお祈りします

滝原	蔦雄	85	下	原
神林	雅晴	82	竹	室
坂口	泰海	57	十	林 寺
内海	花與	83	大	庭
若林	武雄	80	赤	井
坂口	勝美	88	真	田

納税と使用料

11月30日(水)

- ・固定資産税
- ・国民健康保険税
- ・介護保険料(普通徴収)
- ・有線放送使用料
- ・保育料
- ・町営住宅使用料
- ・ふれあいの館利用料
- ・在宅支援サービス利用料

月曜日は午後7時まで！

役場延長窓口(住民票・印鑑
証明・所得証明・納税証明)
をご利用ください。

クッキング

No.108

ポテトチップス入り大根サラダ

(4人分の材料)

大根	300g
きゅうり	2分の1本
りんご	8分の1個
ツナ	40g
ポテトチップス	50g
塩	少々
マヨネーズ	50g



きゅうりの代わりに大根の葉を入れたり
して、色々アレンジしてみてください。
大久保順子さん(十林寺)

(つくり方)

- ①大根は皮をむき、きゅうりは皮をむかないで、それぞれ2等分し、食べやすい大きさの千切りにして、塩をふって、おいておく。
- ②りんごは、皮をつけたまま2等分にし、イチヨウ切りにする。
- ③①をさっと水で洗い流して、よく絞る。
- ④③に②を加え、ポテトチップス、ツナを入れ、最後にマヨネーズ入れてあえ、味を調える。



カメラニュースは、町の中の様々
な出来事や話題をお届けしてい
ます。



● そえひ保育園が50周年を迎え 記念樹のお披露目

10月1日、50周年を迎えたそえひ保育園で、運動会にあわせて、記念樹のお披露目が行われました。

記念樹のモクレンと、ハクレンの木は、保護者会から贈られたもので、時期の良い今春に植えられました。式では、園児と保護者、祖父母や、来賓が手をつないで、記念樹の前まで行進。交代で、「大きくなってね」など声をかけながら土や水をかけました。

保護者会長の三井まゆみさん（萩）は、「強い木で大きく育つので、この木を選びました。この保育園が発展して、子どもたちが健康やかに成長することを願っています」と話していました。



● 真田の里かしコンテスト 町長賞に三井さ紀さん（岡保）

このほど真田の里かしコンテストの結果が決まり、今年度の町長賞は、岡保の三井さ紀さん（左写真）に決定しました。

「イノシシも食料難」と題された三井さんの作品は、かし2体とイノシシからなるもの。近くの田にイノシシが出たことにヒントを得て作ったそうです。三井さんは、「イノシシも人間も共存できればいいと思います」と話していました。

また、右の写真は、審査員特別賞に選ばれた長小学校5年生35人とその作品です。このほか入賞者は、27ページの行政情報に掲載しています。



● ふれあいながら、町を美しく 地域清掃ハイキング

10月1日、社会福祉協議会、ボランティア連絡協議会、アザレアンさなだ、かりがね学園が共催する地域清掃ハイキングが行われ、200人以上の人が参加しました。

町内小中学生も多数参加するこのイベント。当日は最初に倉島正宜社協会長が、「人とふれあいながら、一緒に行動し、やさしさや、思いやりを持ちましょう」とあいさつ。その後、地藏峠方面や、国道沿い、運動公園周辺など10コースに分かれて道路沿いの清掃活動をしました。

中組からアザレアンさなだまで

のごみを拾って歩いた真田中3年の久保田直樹くんは、「町をきれいにしようと思って参加しました」と話していました。



● ゆきむら夢工房に 本格的な日本庭園が出現

石舟のゆきむら夢工房の駐車場横に、このほど本格的な日本庭園が造られました。

この庭園は、(社)日本造園組合連合会長野県支部が、10月1日、2日に現地で行った技術技能講習会で作り、町に寄贈したもの。

当日は、県内各地から70人ほどのプロの庭師が集まり、クレー

ンを使って石を配置したり、植栽をほどこしたりして、築山と枯山水の池や滝からなる本格的な日本庭園が完成しました。同支部の技術技能委員長の手塚和人さん（上田市）は、「本格的な日本庭園で、気持ちもやすらぐと思います。多くの方に見ていただきたいと思います」と話していました。

● 米寿、金婚を迎えた方に 町からお祝い

今年度町内では、50人の方が、88歳の米寿。58組のご夫婦が50年の金婚を迎えました。

9月の20日、22日、27日に、町長がこれらの家庭を訪問してお祝いの賞状と、記念品を贈りました。

金婚を迎えた若林茂好、みち子さん夫妻（赤井・写真）に感想を伺うと、茂好さんは、「長いようで、短いものです。長生きして幸

せだと思います」と。みち子さんは、「大病もしないで、無事に50年を迎えられてよかったです」と金婚の喜びを話します。76歳の茂好さんと、74歳のみち子さんは、今も、48^年ほどのりんご畑を作っているそうで、「りんご作りは、張り合いです。畑に行くと元気になります」と、夫婦そろって健康の秘けつを話してくれました。





創立50周年を迎えた 真田中学校で、 記念講演会や植樹。

式典後、旧長中学校の卒業生で、
信州大学学長の小宮山淳さんの
記念講演が行われた。

今年創立50周年を迎えた真田中学校で、9月20日に記念の植樹、25日には記念式典が行われました。

20日の記念植樹は、各クラス1本ずつ、合計11本のヤマボウシの木が、校庭西側のフェンスに沿って植えられ、生徒たちは、一人ずつ、土や水をかけました。

25日には、多くの来賓も出席して記念式典が行われました。生徒会長の清水貴茂くん(3年)は、「節目の年に真田中生徒でいることをうれしく思います。伝統をほぐす手を守り伝えていきたいです」とあいさつしました。

式典の後、「後輩のみなさんに期待して」と題して、旧長中学校卒業生で、現在信州大学学長の小宮山淳さんの記念講演が行われました。医学博士でもある小宮山さんの記憶力や、集中心に関する興味深い話に会場に集まった人が聞き入りました。その後「真田町・真田中を語ろう」と題した分科会が行われました。真田中の歴史など20の分科会にそれぞれ講師を招いて、参加者は、町や母校への認識を深めていました。

Town Topics Nov 2005

季節の中で

真田中の記念植樹の取材に行つて、校庭の桜は、第1回の卒業生が植えたものだというのを初めて知りました。私が卒業したときには、もう立派な桜だったので、あつて当然と思つていました。創立当時の真田中学校庭は、樹木もなく石だらけで、当時の生徒が石を運び出したそうです。また、東側の松林は、3回目の卒業生が植えたものだそうです。そうした幾代もの積み重ねで、現在の真田中の豊かな緑があります。改めて50年の歴史の厚みを感じました。

(なべ)

インターネット情報

<http://www.sanada.or.jp/>

<http://www.town.sanada.nagano.jp/>

わたしたちの町の人口

11,697人 (- 3)

男 5,778人 (- 5)

女 5,919人 (+ 2)

世帯数 3,810戸 (+ 5)

平成17年10月1日現在 ()内は前月比